

# 2024年度 事業報告

社会福祉法人 横浜いのちの電話



メツヨイグサ (アカバナ科)

---

目 次

ご挨拶	1
2024 年度 事業報告	2
活動概要	2
電話相談活動	2
研 修	2
活動報告	3
相談員数と受信件数	5
電話受信状況	6
2024 年度 決算報告	9
2025 年度 事業計画	10
2025 年度 資金収支予算書	11
法人組織	12
感謝報告（寄付報告）	13
事業支援委員会 感謝録	15
組織図	16



## ご挨拶

2024（令和6）年度の事業活動と収支決算をここにご報告いたします。この一年間も多くの方々にご支援、ご協力をいただき、このように活動が続けることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私ども横浜いのちの電話の日本語相談は、「いつでも、誰でも、どこからでも」という電話の即時性と匿名性を保持し、電話で寄り添うことを大切にしながら、認定されたボランティアにより年中無休で自殺予防の電話相談活動を行っております。また、中南米からの在日外国籍の方々のためのスペイン語、ポルトガル語による外国語相談（LAL）も同じく認定されたボランティアにより週3日の活動を続けています。さらに心理や法律の電話による専門相談を行っています。それぞれ無事に相談をお受けすることができました。

眠らぬダイヤルとして、日本語電話相談では相談員の協力の中、木曜、金曜、土曜には24時間体制で行うことができました。一日でも多く24時間体制で相談を受けることができるようにしていきたいと願っています。そのためにも相談員を増やしていくことが課題となっています。相談員が増え、より多くの相談を受けることができるように努めていきたいと思っています。

ボランティア間の交流を目的とした「クリスマス会」や「日本語電話相談員のつどい」も開催することができました。事業支援委員会が行っている秋の催し（コンサート）、春の映画会、バザー等も無事に開催することができ、多くの方々に参加していただくことができました。さらに相談員の養成研修をはじめ全体研修、地区別グループ研修等も実施できました。財政面でも多くの方々から寄付をいただき、行政の支援もいただくことにより安定した運営を行うことができました。ありがとうございました。

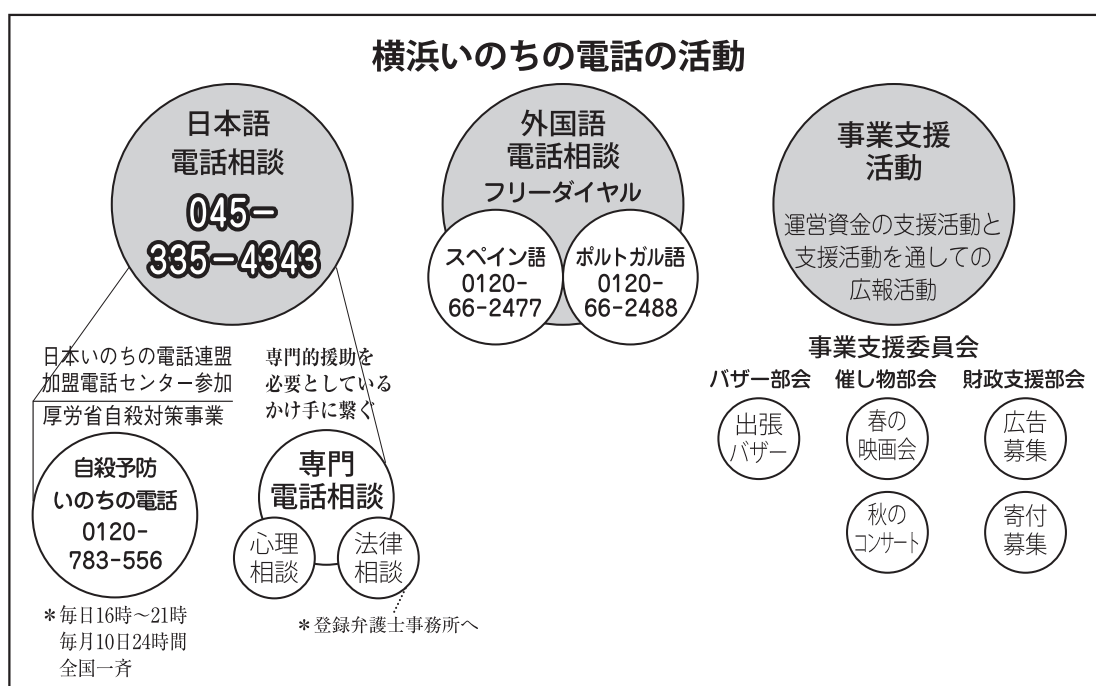
私たちの電話には、常に多くの方々からの電話がかかってきます。私たちを必要としてくださる方々の相談を少しでも多くお受けできるように、これからも努力していきたいと思っています。

今年度も社会福祉法人としての自覚と責任を担いながら、『いのちを大切にする』市民活動を続けてまいります。常に自殺予防としての電話相談の質を問い直し、「かながわ自殺対策会議」をはじめ県市町の行政機関、関係諸団体と連携、協力しながら、生きる力を信じて支え、お一人おひとりの電話に寄り添う、柔軟な自殺予防活動に取り組んでいきたいと思います。

45年目の歩みを始めています。横浜いのちの電話がこれからもより良い相談ができるように、皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

2025年7月

社会福祉法人 横浜いのちの電話  
理事長 松橋秀之



## 活動概要

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になってから1年が経過し、2024年度はほぼコロナ禍前の状況となり、事業計画通りに実施出来た。日本語電話相談は2023年11月より木曜日の深夜帯の活動も再開したことにより、日曜日～水曜日は8時～22時、木曜日～土曜日は24時間体制で活動した。

日本いのちの電話連盟が毎月10日に実施しているフリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」には8時～22時、2020年度より実施している「毎日フリーダイヤル」（16時～21時）には、2021年8月より1日と20日に16時～19時で参加していたが、2024年11月より、毎月10日のフリーダイヤルには8時～翌日8時まで、「毎日フリーダイヤル」には毎日16時～21時に、可能な範囲で参加した。

また日本いのちの電話連盟の2024年度プロジェクト、「能登半島地震支援予約制ダイヤル」及び、9月の自殺予防週間と3月の自殺予防月間に実施した「7日間168時間連続フリーダイヤル」にも全日程参加した。

## 電話相談活動

※統計数字は日本いのちの電話連盟にあわせて年（1月～12月）で集計しています。

### 日本語電話相談

#### 1. 一般電話相談 045-335-4343

- (1) 年中無休24時間体制を理念として電話相談活動を継続したが、コロナ禍以降時間を短縮しての活動を余儀なくされた。
- (2) 実働相談員126名（2023年129名）が原則として月2回の電話担当に入り、16,705件（2023年16,222件）の電話相談を受信した。

#### 2. 専門相談（心理・法律）

専門的援助を必要としているかけ手に対しては、一般相談から専門相談につなぎ対応した。

受信件数 心理専門相談 116件（2023年99件） 法律相談 32件（2023年38件）

#### 3. フリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」 0120-783-556

- (1) 厚生労働省の自殺防止対策事業（自殺防止対策事業補助金交付）である「自殺予防いのちの電話」に引き続き参加し、毎月10日のフリーダイヤル（8時～22時、11月より可能であれば8時～翌日8時）と、毎日フリーダイヤル（1日と20日の16時～19時、11月より可能であれば毎日16時～21時）で相談を受けた。
- (2) 県及び市町村に、ポスター、カード配布等の広報活動を行った。
- (3) 受信件数973件（2023年538件）のうち自殺に関する件数164件（2023年107件）担当した延べ相談員数274名（2023年142名）

### 外国語電話相談 LAL（Linea de Apoyo al Latino/Linha de Apoio aos Latinos）

一般電話の他にフリーダイヤル相談も実施している

- (1) 主に中南米からの外国籍県民を対象に母語（スペイン語・ポルトガル語）のメンタルヘルス相談を神奈川県と横浜市の援助により実施した。相談員の国籍は6ヶ国で、担当した相談員数は43名（うち日本人10名）である（2023年は6ヶ国で、担当した相談員数は40名（うち日本人11名））受信件数857件（2023年1,201件）。スペイン語391件（2023年470件）、ポルトガル語466件（2023年731件）。
- (2) 開局（1993年9月1日）以来の受信件数は34,333件である。

## 研修

### 日本語電話相談

#### 1. 養成研修

- (1) 全国的に応募者の減少がみられる中、積極的な広報活動を実施した。2024年度は14名（2023年度16名）の応募があった。
- (2) 3月、「応募動機」「自分史」の応募書類の審査とグループ面接の結果、12名を選考した。
- (3) 前期研修（4月～9月）としては人間関係基礎研修（宿泊研修を含む）、ロールプレイ研修などを実施した。
- (4) 後期研修（10月～翌年2月）は、専門分野の講師による「いのちの電話の成り立ち」や「精神保健」、「相談対応」などについての講義を10回実施した。また実習で電話インターン研修を実施した。
- (5) 前期研修、後期研修を通して、相談員としての適性を審査した結果、5名（2023年度5名）を認定し、3月29日（土）認定証を授与した。なお、応募から研修期間中に体調不良や家庭、仕事の事情により研修が継続困難となり、3名の方が辞退した。

#### 2. 継続研修

相談員は、認定された後も引き続き各種研修が義務付けられている。相談員として良き聴き手となるためには研修は必修である。

##### (1) 初任者研修

認定された直後の相談員は1年間、月1回の研修が義務付けられており、1グループで実施した。

##### (2) 地区別グループ研修

相談員は13の地区別グループのいずれかに所属することとしており、毎月1回、研修を実施した。グループは良き聴き手となるための学びを深めると共に、相談員の支えあいの場となっている。

##### (3) 全体研修

相談員が幅広い知識を習得することで、より良い相談活動が出来るように、毎年、講義内容を精査し研修を企画



している。2024年度も「ウイリング横浜」（上大岡）において、下記の通り2回実施した。

第1回 「受け手の心得」～困難な電話相談事例より～

講師 高梨愛子氏（精神科医・東京いのちの電話電話医療相談）

6/22（土）14：00～16：00（80名参加）

第2回 「当事者視点に近づくための発達障害の体感的理解」

講師 佐藤佑貴氏（公認心理士・臨床心理士・福島学院大学福祉学部教授）

11/30（土）14：00～16：00（74名参加）

(4) 継続スーパービジョン

電話相談を熟知した7名のスーパーバイザーによるスーパービジョン（2時間）を、123名（2023年度128名）に対して実施した。

(5) 相談員スキルアップ研修

10/26（土）～27（日） 国民生活センターにて相談員スキルアップ研修を1泊2日で実施した。

参加者15名（リーダー3名含む）

### 3. 研修担当者

(1) 研修委員会

相談員養成研修、相談員継続研修など研修全般にかかわる内容について、企画、提案、課題対応を行うために5回開催した。

(2) 研修担当者研修

研修担当者としてのスキルアップを図るため、事例研修を中心に8回実施した。

(3) 研修担当者養成研修

2024年度は5名の参加があり、相談員スキルアップ研修に参加した。

研修担当者研修の事例研修に6回参加した。

相談員養成研修のオブザーバー体験、ロールプレイ研修のオブザーバー・ファシリテーター体験とそのふりかえり研修を実施した。

インターングループ研修にも参加した。

(4) 講師派遣

外部機関へ研修講師として研修リーダーを派遣した。

6/3 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 「聴くということー望まれる傾聴の姿勢ー」

1/23 神奈川県平塚保健福祉事務局 「生きる力を引き出す相談スキルとは」

## 外国語電話相談

### 1. 養成研修

(1) 相談員養成研修はスペイン語・ポルトガル語ともに5月から12月まで26回の講義（理論・ロールプレイ）、1月から3月まで電話インターン研修を実施した。

(2) 研修参加人数は9名（ポルトガル語5名・スペイン語4名）、そのうちスペイン語3名・ポルトガル語4名が認定された。国籍は日本2名、ブラジル4名、アルゼンチン1名である。

### 2. 継続研修

相談員継続研修では、相談員が組織の一員として活動していることへの理解を深めることを目的に、心理学のテーマに基づき、対応の難しい相談の事例検証や、対応のテクニックや心構えを振り返るスーパービジョンを行いながら、相談対応の改善を図った。継続研修は計6回及び相談員内勉強会を2回実施した。その他研修担当による個人またはグループでのスーパービジョンを年2回（6-12月）、計37名に実施した。

## 活動報告

### 対外活動

- (1) 日本いのちの電話連盟社員総会が6月15日（土）にハイブリット方式で実施され、事務局長がオンラインで代理で出席した。事務局長会議が6月29日（土）と10月10日（木）にハイブリッド方式で実施され、事務局長が対面で出席した。また12月3日（火）に関東甲信越ブロック会議がハイブリット方式で実施され、理事長と事務局長がオンラインで出席した。
- (2) 日本いのちの電話連盟主催の「相談員ハラスメント指針策定事業事務局スタッフ会議」が12月13日（金）に実施され、事務局長と事務スタッフ1名が参加した。
- (3) 官民共催の「AIDS文化フォーラムin横浜」の委員として、理事長が組織委員会（4月8日、6月10日）、開会式（8月2日）に出席した。
- (4) 「かながわ自殺対策会議」（7月17日、11月22日）に理事長が委員として出席した。
- (5) 「よこはま自殺対策ネットワーク協議会」（10月23日、1月31日）に事務局長が委員としてオンラインで出席した。
- (6) 秦野市自殺対策推進委員会（7月5日）に事務局長が委員として出席した。
- (7) 相模原市自殺対策協議会（8月29日）に研修委員長が委員として出席した。
- (8) 湯河原町自殺対策推進協議会（12月19日）に事務局長が委員として出席した。
- (9) 2022年度より、ライオンズクラブ国際協会330-B地区の102ヶ所のライオンズクラブへ当センターの紹介や催し物の案内、維持会員・賛助会員のお願いをしているが、2024年度もライオンズクラブ内のイベント開催時の募金活動などで、「いのちの電話」の活動支援をいただいた。
- (10) 厚生労働省自殺防止対策事業の一環として、市民に自殺防止の普及・啓発を図るために、公開講演会を開催した。「専門家まかせにしない～みんなで創るメンタルヘルス～」

講師 佐藤 光展氏（医療ジャーナリスト）

2024年11月15日（金）18:30～20:30 （104名参加） 於：社会福祉センターホール

(11) 川崎いのちの電話事務局と情報交換を行った。

## LAL関連の対外活動

- (1) 4月3日、駐日ブラジル大使館にて行われた、日伯関係に寄与したジャーナリスト（ブラジル人・日本人）の表彰式にLALコーディネーターと事務スタッフ1名が参加した。
- (2) 4月4日、日本を訪問中のブラジル日系女優による講演会で、ブラジルで行っている青少年の自殺予防活動について紹介があり、LALコーディネーターと事務スタッフ1名が参加した。
- (3) 5月15日、横浜市健康福祉局を事務局長とLALコーディネーターが訪問し、LALの30周年記念事業の一環として、ポルトガル語・スペイン語・日本語の3か国語で発行した記念誌を贈呈した。
- (4) 5月30日、在東京のブラジル総領事館をLALコーディネーターと事務スタッフ1名が訪問し、LALの30周年記念誌を在東京ブラジル総領事に贈呈した。
- (5) 6月3日、LALの30周年記念誌を在駐日ブラジル大使及びブラジルコミュニティ部書記官に贈呈するため、LALコーディネーターと事務スタッフ1名が駐日ブラジル大使館を訪問した。
- (6) 7月4日、ブラジル銀行東京支店をLALコーディネーターと事務スタッフ1名が訪問し、LALの30周年記念誌を広報部コルテラマネージャーに贈呈した。
- (7) 8月25日、日本を訪問中のブラジル銀行総裁をお迎えするイベントに招待され、LALコーディネーターと事務スタッフ1名が出席した。
- (8) 9月6日、ブラジル独立記念式典にブラジル大使館の招待を受けて、LALコーディネーターと事務スタッフ1名が参加した。
- (9) NPO MAIKEN及びSuzukame Amigos主催で12月22日、三重県亀山市で「クリスマスパーティー」が催された。LALコーディネーターが広報活動を行った。
- (10) 2月4日、茨城県常総市にて、ブラジル人学校「オプション」、日系ブラジル人が経営する「Taiyo Co.」、常総市役所の外国人コミュニティを担当する部署の3か所をLALコーディネーターと事務スタッフ1名が訪問した。LALの30周年記念誌を贈呈すると同時に広報活動を行った。
- (11) 2月20日、神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）多文化共生チーム主催により、「神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会」にLALコーディネーターが参加した。
- (12) 3月23日、NPO MAIKEN及びSuzukame Amigos主催により岐阜県大垣市でブラジル人コミュニティ向けに「医療・心理相談会」が開催された。LALコーディネーターは広報活動を行った。
- (13) 群馬県邑楽郡大泉町で定期的（月1回）に行われる、NPO MAIKEN及び東邦大学医学部精神神経医学部主催の心理相談会にLALコーディネーターが面談の通訳などで参加した。

## 相談員委員会

### 1. 相談員委員会定例会

相談員委員会は、相談員の継続研修を行う各地区別グループから選出された相談員委員会委員、事務局長、研修委員会の委員で構成され、原則として毎月第1土曜日 13：30～15：30 開催し次の活動を行った。（8月は休会）

- (1) 相談活動における連絡・報告を通じて、相談員間の情報の共有を行った。
- (2) 相談員として必要な基本的な心構え及び組織の一員として活動することを適宜、再確認し合った。
- (3) 電話相談活動におけるいろいろな課題について話し合い、相談環境の向上を図った。
- (4) 連盟が主催する能登半島地震支援予約制ダイヤル、7日間168時間連続フリーダイヤル（9/10～9/17、3/10～3/17）、毎日フリーダイヤルについて協力を検討し、参加することとした。

### 2. 研修・行事の担当

相談員は組織の構成員でもあるため、全体研修や新年会などの行事の準備・進行をそれぞれ地区別グループが担当することになっているが、2024年度は6月と11月に開催された全体研修を担当した。

また、新年会にかえて12月に開催されたLAL、事業支援委員会、事務局と合同のクリスマス会に相談員委員会として企画運営から参加し実施した。

### 3. 相談員のつどいの開催

2月11日に相談員のつどいを実施。33名が参加し、グループワーク形式により相談員活動に対する思いを語り合った。アンケートでは約9割が来年も参加したいとの結果であった。

## 事業支援委員会

横浜いのちの電話の活動をより社会に広め、運営資金を得ることで事業を支援するために、次のような活動を実施し、法人会計へ100万円を繰り入れた。また、このような支援活動を通して、横浜いのちの電話の支援と協力をお願いする広報活動を行った。会員数約60名。

### 1. バザー部会

- (1) 仕事会は月2回の活動でバザー商品を作製した。少しずつ会員も増えている。
- (2) 出張バザーが少しずつ出店できるようになり、8ヶ所で出店した。新しい会場を模索している。また年々、新しい製品を出品出来るように努力している。

### 2. 催し物部会

- (1) 秋の催し 「ダ・カーポコンサート」  
2024年10月25日（金） 15：00～17：00 於：関内ホール  
チケット売上612枚 当日入場者名587（含招待者）
- (2) 春の映画会「明日を綴る写真館」

2025年3月5日（水）第1回目11：00～12：50 第2回目14：30～16：20 第3回目 18：30～20：20  
於：さくらプラザホール チケット売上523枚 当日入場者420名（含招待者）

### 3. 財政支援部会

10月のコンサート、3月の映画会で募金活動を実施した。

### 広報委員会

広報「横浜いのちの電話」107号（5月）・108号（11月）を発行した。

### 事業報告書の発行（7月）

「2023年度事業報告」を発行した。

### LAL30周年記念誌発行

LAL30周年記念事業として、3ヶ国語（ポルトガル語、スペイン語、日本語）の記念誌を2024年3月に発行したため、2024年度になって、ブラジル及び在日ラテン系コミュニティと連携をする関係者へ広報活動の一環として送付したり、訪問し贈呈した。

### ボランティア間の交流

横浜いのちの電話では、日本語相談・外国語相談・事業支援ボランティア・特別技能ボランティアが活動しており、単独または合同で場を設け、相互の交流を深めている。

- (1) 外国語電話相談員交流会 中止
- (2) クリスマス会（日本語相談・LAL・支援会合同） 12月7日（土）12：30～15：00 53名
- (3) 日本語電話相談員の集い 2月11日（祝火）13：30～16：00 33名

### 募金活動

横浜いのちの電話の活動のために多くの維持会員・賛助会員から寄付をいただいた。

寄付金収入合計 6,021,934円（2023年度13,586,922円）

維持会費361件（個人329件 団体 7件 法人25件）2,202,000円（2023年度 2,277,000円）

一般寄付431件（個人339件 団体 46件 法人46件）3,819,934円（2023年度11,309,922円）

### 神奈川県地域自殺対策強化交付金事業

神奈川県より200万円の神奈川県地域自殺対策強化交付金事業補助金の交付を受け、主に相談員の研修にあて、相談対応の質の向上及び改善につなげる等、自殺防止対策のために使用した。

## 相談員数と受信件数

相談員数		
日本語相談		166 名
専門相談	心理相談	12 名
	法 律	4 名
外国語相談		43 名

受信件数		
	実相談数	16,705 件
日本語相談	（うち自殺志向）	1,700 件
	（うち自殺予防フリーダイヤル）	973 件
専門相談	心理相談	116 件
	法 律	32 件
外国語相談	スペイン語	391 件
	ポルトガル語	466 件

受信状況の推移			
年		日本語（件）	外国語（件）
2010	4～ 3 月	22,067	1,429
2011	1～12 月	22,051	945
2012	1～12 月	21,526	950
2013	1～12 月	21,728	792
2014	1～12 月	21,509	1,126
2015	1～12 月	21,256	1,179
2016	1～12 月	21,306	1,306
2017	1～12 月	21,372	1,957
2018	1～12 月	21,369	1,652
2019	1～12 月	21,600	1,135
2020	1～12 月	10,730	912
2021	1～12 月	13,636	1,212
2022	1～12 月	15,388	1,205
2023	1～12 月	16,222	1,201
2024	1～12 月	16,705	857

## 電話受信状況 相談データ

### 【電話相談の状況】

#### 1. 日本語電話相談 年代別・男女別受信件数（図1，表1）

2024年の受信件数は、16,705件と前年の16,222件より微増となった。コロナ禍以降深夜活動が全日でない結果が現れている。コロナ禍により減少した相談員数は高齢化もあり実働数はコロナ禍前に戻っていない。受信件数の男女別では、男性（46.0%）女性（53.5%）その他（0.5%）と男性の割合が前年（44.5%）より微増している。年代別では、男性は50代、40代で60%以上を占め、次に60代が続く。特に50代が前年の倍となった。女性は60代、50代で60%以上となり、次に70代が続く。60代は前年同様女性が男性より大幅に多い。匿名性を尊重しているため、年齢不明が4割超となっている。年代がわかる受信件数9,163件のうち、40代（21.2%）、50代（30.7%）、60代（24.4%）の占める割合が前年同様多い。

#### 2. 日本語電話相談 内容別受信件数（図2，表2）

内容別では、「精神」が最多（26.2%）で、「人生」（23.7%）、「家族（親族を含む）」（12.2%）、「対人」（8.6%）、「身体」（7.7%）の順となっている。それぞれの内容では、「精神」は統合失調症やうつなどの疾患に関するものが、「人生」では生き方、生きがいや孤独が多い。「家族（親族を含む）」では不満、介護、子育てに加えて虐待も増えている。「対人」では、不和・トラブルが多くなっている。年代別に見ると、30代から50代にかけては「精神」が最も多いのに対し、10代以下は「家族」、20代は「男女」が多く、60代以上は「人生」が最も多く、若年層と高齢層での違いが見受けられ、前年と同じ傾向となっている。

#### 3. 日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率（図3，表3）

受信件数に対する自殺志向件数は1,700件で、自殺志向率は10.2%で前年の10.6%より少し下がった。年代別では、50代、40代、60代の順で自殺志向件数の割合が高くなっている。一方、自殺志向率では、前年に続き40代（17.5%）が突出しているが、今年も10代（13.1%）も高くなっている。自殺志向率の男女別では、男性（11.6%）のほうが女性（9.0%）より高くなっている。年代別にみると男性は40代（19.8%）が最も高く、次に50代（18.4%）が高いのに対し、女性は20代（20.3%）が最も高く、次いで30代（16.5%）10代（14.0%）となっており、男女差が見受けられる。

#### 4. 日本語電話相談 内容別受信件数自殺志向率（図4，表4）

内容別の自殺志向件数は、「精神」「人生」「家族」の順で高くなっている。また自殺志向率は、「精神」（16.6%）「人生」（12.5%）「経済」（10.6%）「教育」（8.1%）「夫婦」（7.8%）の順となっており、受信件数としては少ない「経済」「教育」「夫婦」の自殺志向率が高くなっている。自殺志向のほとんどは『自殺念慮』であるが、より危険度の高い『予告・通知』の19件中「人生」が5件、「精神」が5件となっていて、これら項目は、危険度が高いものが多く含まれているといえる。

#### 5. 日本語電話相談 フリーダイヤル（図5，表5）

毎月10日と毎日16時～21時のフリーダイヤルで全国のセンターとオンラインでつながり、日本全国からの電話を受けている。フリーダイヤル受付日を増やした結果受信件数も前年度の538件から973件に増加している。また、自殺志向率は16.9%で通常電話（9.8%）と比べ高くなっている。女性の通常電話自殺志向率は8.4%だが、フリーダイヤル自殺志向率は18.4%となっている。内容別では受信件数は通常電話と同様「精神」「人生」が多い。自殺志向率では通常電話は「精神」「人生」「経済」、フリーダイヤルは「教育」「夫婦」「男女」「精神」「経済」が高く、傾向の違いが見受けられる。

#### 6. 心理専門電話相談（図6，表6）

2024年の相談件数はコロナ禍以降では一番多い116件だった。女性からの相談が103件と大半を占めている。昨年同様に全ての相談が精神疾患を抱えている方からの相談となっている。最多相談回数は20回で、依存度の高い方もいるが比較的相談時間の短い方が増えたため、多くの相談を受けることが出来たと思われる。相談の内容別では対人関係に悩む方が半数近くとなっている。

#### 7. 法律専門電話相談（図7，表7）

相談件数は昨年よりも数件減ったものの32件だった。内訳は相続・贈与、離婚、家族・扶養の合計が18件で、相談件数の半分以上を占めた。このことから家族間での問題の深刻さが現れている。雇用・労働の相談も増え、身近な問題の相談が多くみられた。

#### 8. 外国語電話相談（図8，表8）

前年に比べて相談件数はやや減少した。しかし、相談内容は以前よりも複雑化している傾向が見られる。中でも、「人生」に関する相談が目立ち、孤独感や不安といった問題が高齢者に多く見られる。また、「人間関係」については、近隣住民や職場での人付き合いの難しさに関する相談が多く寄せられた。「性的内容」に関しては、性的嫌がらせ、性暴力（夫婦、恋人）が含まれる。前年に引き続き、高齢化に伴う問題（孤独、失業、経済的困難）が続いており、生活保護を受ける外国人の増加が目立つようになっている。日本に住むラテン系の人々の間では、将来への展望が見えないという悩みが共通の問題となっている。



## 日本語電話相談 年代別・男女別受信件数

図1

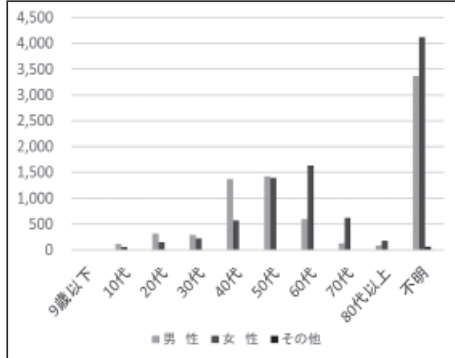


表1

年代別	男 性		女 性		その他		合 計	
	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
9歳以下	0	2	1	1	0	0	1	3
10代	110	129	57	77	1	4	168	210
20代	314	299	148	176	5	5	467	480
30代	293	325	224	270	6	9	523	604
40代	1,369	1,570	575	794	2	36	1,946	2,400
50代	1,420	730	1,391	1,361	0	4	2,811	2,095
60代	601	635	1,631	1,783	4	3	2,236	2,421
70代	127	172	624	541	0	0	751	713
80代以上	84	105	176	81	0	0	260	186
不明	3,364	3,246	4,117	3,806	61	58	7,542	7,110
合計	7,682	7,213	8,944	8,890	79	119	16,705	16,222

\*「その他」には性別不明または男性・女性のいずれにも該当しない性別が含まれます

## 日本語電話相談 内容別受信件数

図2

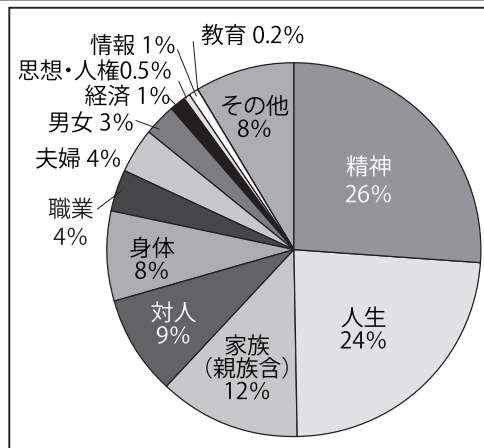


表2

	2024年	2023年	割合
精神	4,385	3,490	26.2%
人生	3,965	3,818	23.7%
家族(親族含む)	2,035	2,147	12.2%
対人	1,435	1,626	8.6%
身体	1,291	1,373	7.7%
職業	642	671	3.8%
夫婦	629	636	3.8%
男女	465	563	2.8%
経済	227	255	1.4%
思想・人権	81	120	0.5%
情報	109	94	0.7%
教育	37	32	0.2%
その他	1,404	1,397	8.4%
合計	16,705	16,222	100.0%

## 日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率

図3

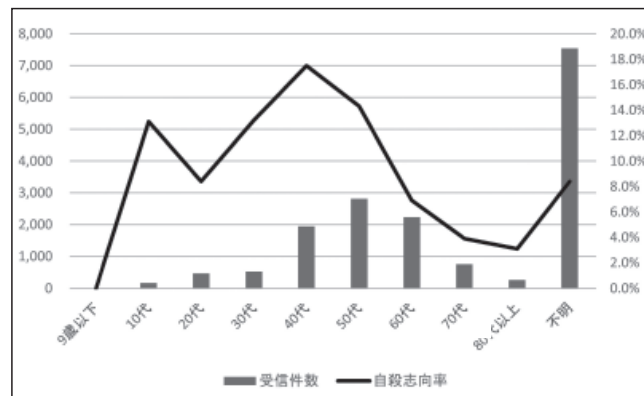


表3

年代別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
9歳以下	1	0	0.0%
10代	168	22	13.1%
20代	467	39	8.4%
30代	523	69	13.2%
40代	1,946	341	17.5%
50代	2,811	401	14.3%
60代	2,236	155	6.9%
70代	751	29	3.9%
80代以上	260	8	3.1%
不明	7,542	636	8.4%
計	16,705	1,700	10.2%

## 日本語電話相談 内容別受信件数と自殺志向率

図4

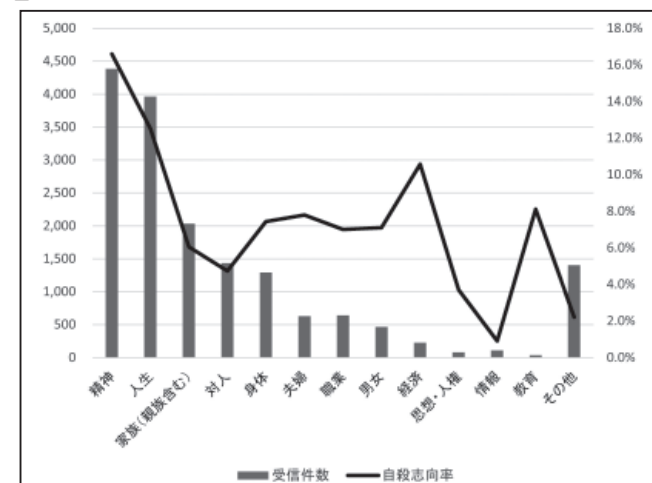


表4

内容別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
精神	4,385	728	16.6%
人生	3,965	496	12.5%
家族(親族含む)	2,035	123	6.0%
対人	1,435	68	4.7%
身体	1,291	96	7.4%
夫婦	629	49	7.8%
職業	642	45	7.0%
男女	465	33	7.1%
経済	227	24	10.6%
思想・人権	81	3	3.7%
情報	109	1	0.9%
教育	37	3	8.1%
その他	1,404	31	2.2%
合計	16,705	1,700	10.2%

## 日本語電話相談フリーダイヤル

図5

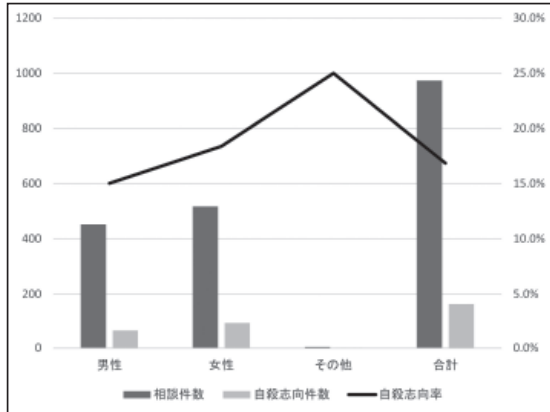


表5

	男性	女性	その他	合計
相談件数	452	517	4	973
自殺志向件数	68	95	1	164
自殺志向率	15.0%	18.4%	25.0%	16.9%
平均通話時間	17.9分	24.8分	7.5分	19.8分

## 心理専門電話相談・内容別受信件数

図6

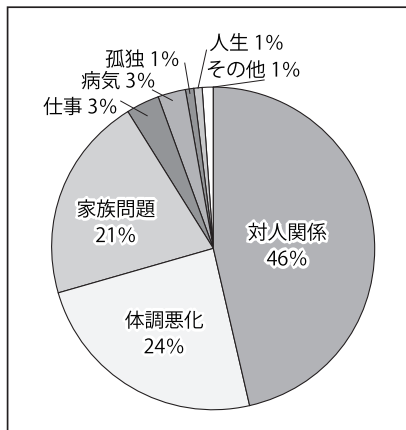


表6

	受信件数	割合
対人関係	54	46.6%
体調悪化	28	24.1%
家族問題	24	20.7%
仕事	4	3.4%
病気	3	2.6%
孤独	1	0.9%
人生	1	0.9%
その他	1	0.9%
合計	116	100.0%

## 法律専門電話相談・内容別受信件数

図7

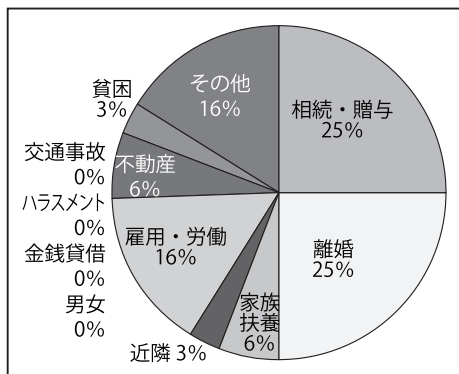


表7

項目	合 計	割合
相続・贈与	8	25.0%
離婚	8	25.0%
家族・扶養	2	6.3%
近隣	1	3.1%
ハラスメント	0	0.0%
金銭貸借	0	0.0%
男女	0	0.0%
雇用・労働	5	15.6%
不動産	2	6.3%
交通事故	0	0.0%
貧困	1	3.1%
その他	5	15.6%
合 計	32	100.0%

## 外国語電話相談・内容別受信件数

図8

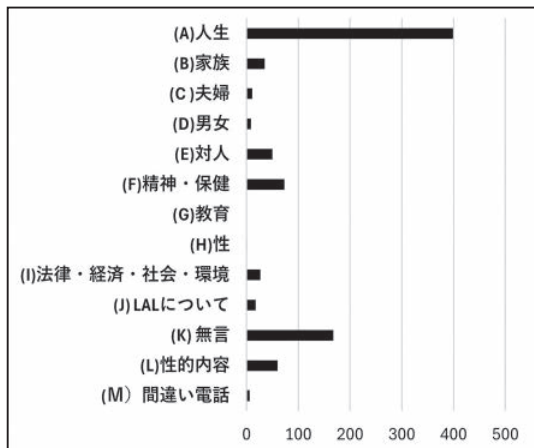


表8

内容別	スペイン語	ポルトガル語	合計
(A)人生	206	193	399
(B)家族	14	21	35
(C)夫婦	4	7	11
(D)男女	3	6	9
(E)対人	4	46	50
(F)精神・保健	30	43	73
(G)教育	0	0	0
(H)性	1	0	1
(I)法律・経済・社会・環境	9	18	27
(J)LALについて	6	12	18
(K)無言	84	84	168
(L)性的内容	27	33	60
(M)間違い電話	3	3	6
総件数	391	466	857

2024年度 決算報告

資金収支計算書

(自)2024年4月1日 (至)2025年3月31日

(単位：円)

		予 算	決 算	差 異	
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	3,545,000	3,853,510	△ 308,510
		寄付金収入	6,760,000	6,021,934	738,066
		経常経費補助金収入	8,000,000	8,000,000	0
		研修事業収入	840,000	962,000	△ 122,000
		共同募金配分金収入	1,530,000	140,000	1,390,000
		連盟助成金	1,175,500	1,308,600	△ 133,100
		雑収入	0	2,000	△ 2,000
		受取利息配当金収入	5,000	18,461	△ 13,461
	事業活動収入計(1)		21,855,500	20,306,505	1,548,995
	支出	人件費支出	10,195,000	9,359,263	835,737
事業費支出		8,901,100	8,136,494	764,606	
事務費支出		4,002,500	3,484,887	517,613	
事業活動支出計(2)		23,098,600	20,980,644	2,117,956	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,243,100	△ 674,139	△ 568,961	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	1,390,000	△ 1,390,000
		施設整備等収入計(4)	0	1,390,000	△ 1,390,000
	支出	固定資産取得支出	1,862,025	1,914,495	△ 52,470
		施設整備等支出計(5)	1,862,025	1,914,495	△ 52,470
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,862,025	△ 524,495	△ 1,337,530
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	3,200,000		3,200,000
		その他の活動収入計(7)	3,200,000	0	3,200,000
	支出	積立資産支出			0
		その他の活動支出計(8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		3,200,000		3,200,000
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		94,875	△ 1,198,634	1,293,509	
前期末支払資金残高(12)		18,136,201	18,797,020	△ 660,819	
当期末支払資金残高(11)+(12)		18,231,076	17,598,386	632,690	

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	18,141,342	流動負債	542,956
現金預金	17,953,842	未払金	0
未収補助金	0	預り金	34,956
前払金	187,500	前受金	508,000
固定資産	139,942,793	負債の部合計	542,956
基本財産	100,000,000	純 資 産 の 部	
定期預金	100,000,000	基本金	100,000,000
その他の固定資産	39,942,793	第1号基本金	100,000,000
器具及び備品	2,368,635	国庫補助金等特別積立金	2,304,052
電話債券	890,644	その他の積立金	36,214,180
ソフトウェア	469,334	相談事業費積立金	32,582,780
相談事業費積立資産	32,582,780	国際交流積立金	3,000,000
国際交流積立資産	3,000,000	外国語相談事業積立金	631,400
外国語相談事業積立資産	631,400	次期繰越活動増減差額	19,022,947
		(うち当期活動増減差額)	△ 744,402
		純資産の部合計	157,541,179
資産の部合計	158,084,135	負債及び純資産の部合計	158,084,135

監査報告書

社会福祉法人横浜いのちの電話  
における2024年度の計算関係書  
類及び財産目録について監査を実  
施したところ、事業の運営及び会  
計上、健全で、かつ公正に処理さ  
れているものと認めましたので報  
告します。

2025年5月8日

監事 野沢 豊◎  
監事 目黒 裕◎

## 2025年度 事業計画

社会福祉法人横浜いのちの電話は、2025年度も「いつでも、だれでも、どこからでも」の原点に立ち、ボランティアによる自殺予防を中心とした眠らぬ電話相談活動を継続していきます。いのちを大切にする市民（ボランティア）運動として、その輪を広げていきます。

横浜いのちの電話基本理念にもとづき、次のとおり、実施します。

### I. 電話相談事業《電話の即時性をもって匿名を確保し、寄り添う》

- 2020年度からはコロナ禍によりそれまでの24時間活動を8時～22時までの活動にならざるをえなかったが、順次深夜帯を再開し、現在は、木曜日・金曜日・土曜日の3日間は深夜帯の相談活動を実施している。基本は24時間、年中無休の日本語相談活動であるので、引続き他の曜日の再開を検討し順次実施する。
- 日本語電話相談のうち、専門的援助を必要とするかけ手を対象に、専門相談（心理・法律）を継続する。
- スペイン語、ポルトガル語を母国語とするかけ手を対象に外国語電話相談活動（スペイン語・ポルトガル語）を継続する。

### II. 電話相談員の養成とスキル向上《ひとりの人間としての成長を図る》

- 電話相談員を育成するために電話相談員養成研修（1年間）を実施し、適性者を認定する。
- 電話相談員のスキルの向上の研修を実施する。
  - 日本語相談
    - 専門家による個人スーパービジョン（全員年1回必修）
    - 地区別グループ研修
    - 全体研修
    - スキルアップ研修
  - 外国語相談
    - 専門家による講座（年5回程度）
    - 個人スーパービジョン（全員年1回以上必修）
- 研修担当者養成研修を実施し、研修担当者を育成する。
- 相談員が活動しやすくなるよう相談環境等の改善に努める。

### III. ボランティアの募集《自発的に参加するボランティアによって支えられている》

- 日本語電話相談員、外国語電話相談員及び事業支援ボランティアを積極的に募集する。
- 日本語電話相談については24時間体制を維持するために、また外国語相談の継続のために、マスメディア、各自治体及び他機関の協力を得る。

### IV. 個人・法人の自覚と責任を持ち、運動体として活動する

- 広報活動
  - 広報誌「横浜いのちの電話」を発行する（5月・11月）。
  - 「事業報告書」を作成し、発行する（7月）。
  - ホームページを常に更新し、充実させる。
  - パンフレット、カード等の配布資料を作成し、有効に活用する。
  - 外国語電話相談を必要とする人たちへの広報活動及び支援者の輪を広げる。
    - 各種雑誌への掲載や、ホームページを用いて広報活動を積極的に行う。
    - 国際交流協会、各国大使館・領事館及び外国人援助団体などの連携を深める。
  - 公開講座（ミニ講座も含む）を開催し、地域への広報啓発活動を行うとともにボランティア募集活動の推進を図る。
- 相談員委員会活動  
電話相談活動における課題についての話し合いや情報共有などを行うため、毎月第1土曜日に地区別グループ代表による相談員委員会を開催（8月は休会）する。また、年に1回「相談員のつどい」を開催する。
- 事業支援者の確保と拡大
  - 事業支援委員会のもとに設置した財政支援部会を基軸に積極的に募金活動及び企業団体への働きかけを推進する。
  - 維持会員・賛助会員の継続及び新規会員の加入に努める。
  - 法人・団体の維持会員の新規加入に努める。
  - 寄附金の拡大を図るため、寄附者に対する税額控除制度（国・県・市）対象法人としてのメリットを継続的にPRし、認可団体としての継続・維持に努める。
  - ライオンズクラブ、ロータリークラブ、及び諸団体との連携を深め、協力を依頼する。
- 事業支援委員会活動として、催し物部会ではコンサート及び映画会を実施する。また バザー部会では手作り作品の



販売に努める。

5. 社会福祉法人制度改革に伴う法人としての体制確立と適正運営の維持・強化する。

#### V. 県・市等行政及び他機関との連携 《社会との協働》

1. 日本いのちの電話連盟及び加盟電話センターと連携、協力する。

(1) 2025年度厚生労働省補助事業による自殺予防活動の一環として、毎月10日に実施される連盟主催の自殺予防フリーダイヤルへ継続参加する。

2020年度コロナ禍対応として開始されている毎日フリーダイヤルには、2024年11月より可能な限り毎日参加しているが、引続き実施される場合は、継続して参加する。

(2) 研修、広報活動など、加盟電話センターと連携、協力をする。

2. 毎年9月10日の「世界自殺予防デー」に合わせ、神奈川県と横浜市の自殺対策街頭

キャンペーン及びJR東日本と「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤルの駅頭告知活動をそれぞれ横浜駅等にてカード配布のPR活動を実施する。

3. 神奈川県下の川崎いのちの電話と連携を深める。

4. かながわ自殺対策会議、よこはま自殺対策ネットワーク協議会、相模原市自殺対策

協議会、秦野市自殺対策推進委員会、湯河原町自殺対策推進協議会 のメンバーとして、神奈川県・横浜市・相模原市・他の市町村及び関連機関との連携を深め、自殺防止活動に参画し、寄与する。

5. AIDS文化フォーラムin横浜 に組織委員として参加する。

6. 外国語電話相談について、

(1) ホームページを有効に活用し、より一層の周知を図る。

(2) 南米出身者のコミュニティーや職業紹介機関を通じてPRの促進を図る。

以上

## 資金収支予算書

自：2025年4月1日 至：2026年3月31日

(単位：円)

勘定科目			予算
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	3,825,000
		寄付金収入	6,760,000
		経常経費補助金収入	8,000,000
		連盟助成金	288,000
		研修事業費収入	880,000
		共同募金配分金収入	1,430,000
		雑収入	10,000
		受取利息配当金収入	10,000
		事業活動収入計(1)	21,203,000
	支出	人件費支出	10,700,000
		事業費支出	9,161,000
		事務費支出	2,852,000
		事業活動支出計(2)	22,713,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			△ 1,510,000
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	1,227,600
		施設整備等支出計(5)	1,227,600
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		
その他の活動による収支	収入	その他の積立金取崩収入	2,800,000
		その他の活動による収入計(7)	2,800,000
	支出	その他の活動支出計(8)	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	
予備費支出(10)			0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			62,400
前期末支払資金残高(12)			18,797,020
当期末支払資金残高(11)+(12)			18,859,420

## 法人組織

法人役員（2025年7月1日現在）

理事長	松橋 秀之	社会福祉法人日本水上学園理事長
理事	笠井 政記	横浜いのちの電話 事業支援委員会委員長
	佐竹 博	公益財団法人横浜YMCA 総主事
	佐渡美佐子	横浜いのちの電話相談員委員会委員長
	十川いづみ	横浜いのちの電話 研修委員会委員長
	田中 博章	社会福祉法人十愛療育会 理事長
	千木良 正	小長井・千木良・渡邊法律事務所 弁護士
	坪内 大輔	横浜いのちの電話 広報委員会委員長
	藤井 豊美	横浜いのちの電話外国語相談総会議長・コーディネーター
監事	板崎 淑子	元 公益財団法人横浜YMCA 保育園園長
	目黒 裕	社会福祉法人大和しらかし会大和市障害福祉センター松風園 統括園長
評議員	石黒 敬史	社会福祉法人興寿会 理事長
	杉山 徹	神奈川県中央児童相談所 所長
	鈴木 真	カトリック山手教会 主任司祭
	竹内 直樹	医療法人横浜いずみ会開花館クリニック 副院長
	永井 徹	東京都立大学 名誉教授
	中村 好美	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 会長
	丹羽 麻子	男女共同参画センター横浜 相談センター長
	西崎 猛之	社会福祉法人鎌倉静養館理事長
	平野 孝夫	株式会社オリマツ 代表取締役会長
	政岡 弘道	宗教法人真光寺 代表役員（住職）

## 法人会議

理事会	第1回	2024年	5月22日	評議員会	定 時	2024年	6月12日
	第2回	2024年	10月30日				
	第3回	2025年	1月22日				
	第4回	2025年	3月26日				

### 苦情解決制度についてのお知らせ

社会福祉法人横浜いのちの電話が提供するサービスに関わる苦情に適切に対応するため、苦情解決の仕組みを整えています。

苦情の受付 横浜いのちの電話事務局

第三者委員 栗原ちゆき（よこはまチャイルドライン理事）  
植田 薫（弁護士）  
森田 誠二（外国語相談）  
永井 徹（評議員）  
松原 康雄（学識経験者）

## 2024年度感謝報告

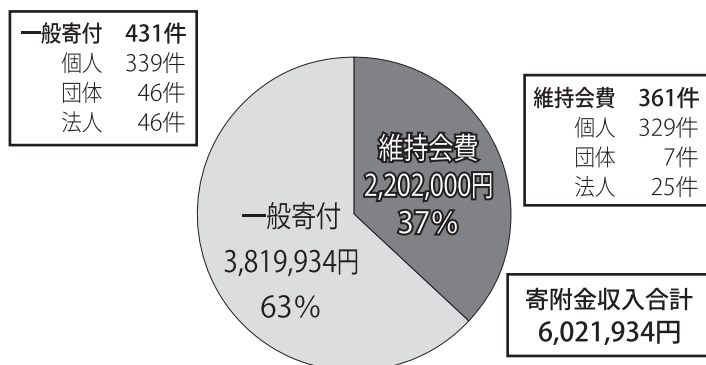
日頃より横浜いのちの電話の活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

横浜いのちの電話は多くの方々や団体、法人の皆様の温かいお気持ちに支えられ今年度も活動が続けることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

これからも一人でも多くの相談者の声に耳を傾け、その方々の思いを受け止めて参りたいと願っております。また、相談員の養成や研修を更に重ね、電話をかけて良かったと思っていただけるように励んでまいります。

皆さまから頂いたご寄付は、今後もより良い相談活動を継続させるために大切に使用させていただきます。引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

ご寄付を頂きました皆様のご芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名につきましては、万全の注意を払ってはおりますが、万が一にも記載もれや誤字脱字がございましたら、恐れ入りますが事務局までご一報いただければ幸いです。また個人情報保護上、掲載を希望されない方のお名前は掲載いたしておりません。今後も掲載を希望されない方はお知らせください。敬称は省略させていただきます。



### ◎維持会費（個人）

◆ア	相沢 匡	青木 佳子	青野 幸子	青柳 令子	青山しのぶ	秋山 英代	阿久津久枝
天野 明子	新井 裕子	荒川 節子	有田モト子	安藤実菜子	◆イ	飯塚由紀子	家里 敦子
伊草 淳子	池田 敦子	池田 淑美	石井 保弘	石川 章	石津 彩子	石塚 博子	石附 峰子
五十畑誠子	板坂 光明	市村 毅	伊藤 君恵	伊藤 文子	伊藤まさ子	伊藤真美子	稲垣 賀子
井上 敦子	井上美佐子	猪俣 清子	今井 迪恵	伊豫部安代	岩澤 敏一	岩下由紀子	岩橋 圭子
岩橋 史明	岩淵 毅	◆ウ	内田恵美子	内田たき子	打田真理子	梅田 淳子	潤井真理子
◆エ	江口チエ子	江口 洋子	海老原弘子	◆オ	大江 美香	大久保俊夫	大久保博之
大久保洋子	大澤 康子	大竹 朋子	大谷 正英	大塚由香里	大槻久美子	大友 順子	大貫まち子
大畑みどり	大原英里子	小笠原佳子	岡本 恵子	岡本 昂	岡本 連三	小川 勝利	小川 恒子
小川由起子	荻沼 敦子	奥田 紀子	小貫 洋子	小畑 克	小原 勉	◆力	柿沢 純江
加行 尚	笠原 光子	榎村かおり	片平光知子	加藤あゆみ	加藤 征三	加藤 浩子	加藤 博子
加藤 文男	加藤真知子	加藤 葉子	金子 ユミ	金子 佐智子	金子 由紀	加野 俊恵	上川 定子
上地 操	上村千代子	加山 潤一	川添 祐子	河内ゆう子	◆キ	紀井 悦子	菊地 綾子
菊地万里子	北 孝史	喜多村光江	木原 サエ	木原由紀子	君塚 展子	木村 和子	木村 弘子
木村 雅恵	木本美枝子	◆ク	草本 和子	楠本 泰子	工藤 幸子	久保 勇	久保 玲子
黒部 一允	◆コ	小出太美夫	小菅 啓子	児玉 王子	小林 絹代	小林 信子	小林 真理
小林 葉子	小林 理枝	小松 智子	小森 綾子	小森 詳宏	小山 かよ	近藤 繁子	
◆サ	斎藤 悦子	齋藤 莊之助	齋藤 たえ	齊藤みどり	坂齋三枝子	坂野 日和	坂本 良子
佐竹 博	佐藤 圭	佐藤 光江	佐藤有見子	佐藤よし子	佐渡美佐子	佐野 知子	佐野 奈巳
佐橋 智子	佐藤 千早	◆シ	茂田 悦子	重宗美智子	篠崎 千波	柴田 直樹	島田 裕子
島津 直美	清水 保	下会所一恵	下村 厚子	下村 秀子	庄司 恵子	庄子 徳義	白川 啓子
陳岡 啓子	◆ス	梶村 千津	鈴木 江美子	鈴木 和子	鈴木 初子	隅蔵 渉	
◆セ	関根 恵子	瀬田 義雄	瀬戸 高代	芹澤由紀子	◆ソ	十川いづみ	外田 博子
◆タ	高島千恵子	高田 耕多	高野 晴子	高橋 章	高橋久仁江	高橋 恵子	高橋 純子
高橋 恒子	高橋由美子	高橋 吉巳	高山 勝則	瀧澤 潔	竹内 直樹	竹谷 なつみ	田代 良一
田中 巖	谷川 雅恵	谷沢 栄司	谷 隆英	田原 景子	田宮 繁子	田村 紀子	田村 美子
◆チ	長南 康子	◆ツ	津田 道夫	網島 和子	◆テ	手塚 正子	
◆ト	東島 昌子	土志田 康浩	冨田 修一	鳥海 薫	◆ナ	永井 崑朗	永井 徹
中島 博明	長嶋 君江	長瀬 陽子	永田千鶴子	仲手川徳幸	永野 肇	中野 竜子	中林 淳子
中村知江子	中村 和彦	那須 泰治	南宮 一子	◆二	新見 泰代	新村 寛子	西崎 猛之
西島 宣雄	西 美和	西谷 大介	◆ネ	根崎 理香	◆ノ	野沢 純子	野沢 豊
野田 政則	野中多津子	野畑 勢津	野村 重子	◆ハ	芳賀 朋子	橋口 奈保子	花村 節子

馬場 泰子	Pubill Puig Xavier	原崎 郁夫	原 寛子	治田 哲之	◆ヒ	日笠 宏	東 大策
樋口 純子	菱山 米子	飛弾野育子	百武 紀子	平尾 良子	平城 波江	平嶋 丸美	平根 寛
平野 孝夫	広越 恵子	◆フ	深澤 祥江	福永 隆	福本 秀子	福山 笑子	藤井 征子
藤崎 孝子	藤田 妙子	藤田 久子	藤永美恵子	藤野 英明	藤吉 康司	古川 淳一	古野 裕子
古谷 大輔	◆ホ	堀田 礼子	◆マ	前田いづみ	増田 雅子	松石 裕子	松浦恵美子
松尾恵津子	松木 英雄	松田 英幸	松橋 秀之	◆ミ	三島 洋子	溝幡三紀子	三橋 三恵
皆川真理子	南 慶子	峯岸 文子	簗島 典代	宮嶋 久枝	宮田 和恵	宮本 佳奈	
◆ム	武藤 隆則	村木 正子	村田 貴子	◆モ	持川 光代	守賀 利香	森口 弥生
森田 茂實	森原 久子	森 優美	◆ヤ	八塚 住子	山口 明子	山口いね子	山口 善弘
山崎恵美子	山下 裕	山田千賀子	山田 理子	山本 きく	山元 桂子	◆ユ	結城由美子
◆ヨ	吉岡 喜子	吉住真理子	吉野 典子	吉味 徳子	◆ワ	若尾 正子	若林 園子
渡辺 詢子	渡辺 静江						

#### ◎維持会費（法人）

安楽寺	(株)一幸堂	圓光院	京浜急行電鉄(株)	香象院	廣徳寺	光明院	国分寺
金蔵院	西善院	真照寺	荘厳寺	相鉄ローゼン(株)	増徳院	(株)高島屋横浜店	東昌寺
東漸寺	(株)徳永ビル	(株)ネピロード	古河電池販売(株)	(株)マルヤホーム	(有)京横興発	(株)横浜銀行本店	(一社)横浜市医師会

(福)横浜YMCA福祉会

#### ◎維持会費（団体）

神奈川県神社庁	神奈川県精神科病院協会	鎌倉恩寵教会	蒔田教会	横浜菊名教会壮年会
横浜金港ライオンズクラブ	YOKOHAMA BELLライオンズクラブ			

#### ◎一般寄付（個人）

◆ア	青柳 令子	新井 裕子	有田モト子	安藤 浩美	◆イ	飯塚由紀子	池田 敦子
池田 淑美	石井 保弘	石塚 博子	五十畑誠子	板坂 光明	井上 敦子	井上美佐子	今井 迪恵
伊豫部安代	岩澤 敏一	岩橋 圭子	岩橋 史明	◆ウ	植田 茂子	内田恵美子	打田真理子
◆エ	江口 洋子	江渕 武雄	◆オ	大江 美香	大久保 明	大久保洋子	大澤 康子
大谷 正英	大貫まち子	大原英里子	大輪 靖宏	岡本久美子	岡本 恵子	小川由起子	奥田 紀子
尾中 孝子	小畑 克	加野 俊恵	柿沢 純江	笠原 光子	加藤あゆみ	加藤 浩子	加藤真知子
加藤 葉子	金子 由紀	岸 厚子	上川 定子	上地 操	亀岡 大造	川崎 智晴	川添 祐子
◆キ	菊地 綾子	久保 言史	喜多村光江	北村由紀子	木村 和子	木村 弘子	木村 雅恵
◆ク	工藤 幸子	小林 葉子	久米 邦子	◆コ	小出太美夫	香山 一江	児玉 王子
小林 絹代	小林 信子	佐々木伊奈子	小松 智子	小森 詳宏	小山 正武	◆サ	齋藤荘之助
坂齋三枝子	坂本 良子	佐治恭仁子	佐治恭仁子	佐藤 圭	佐藤 光江	佐藤有見子	佐藤よし子
佐渡美佐子	佐野 知子	佐藤 千早	佐藤 千早	澤村 幸子	◆シ	茂田 悦子	重宗美智子
篠崎 千波	島田 裕子	庄子 徳義	庄子 徳義	神馬 純江	◆ス	杉崎 和行	相村 千津
杉山 孝博	鈴木江美子	◆セ	瀬田 義雄	◆ソ	十川いづみ	◆タ	高島千恵子
高田 耕多	高橋久仁江	高橋 恵子	高橋 恒子	高橋 吉巳	高原 将光	瀧澤 京子	田代 良一
館 東子	田中 巖	田中 英雄	田中 洋子	谷川 雅恵	谷沢 栄司	谷 隆英	
◆チ	長南 康子	◆ツ	辻川 篤	つながる募金	坪内 重子	鶴田 京子	
◆テ	手塚 正子	◆ト	富田 重次	富田 修一	友田 秀子	鳥海 薫	
◆ナ	永井 崑朗	中尾久美子	中川 董子	中島 博明	長瀬 陽子	永田千鶴子	仲手川徳幸
中 典子	中野 竜子	中林 淳子	那須 泰治	◆二	西崎 猛之	西谷 大介	丹羽 慧子
◆ノ	野沢 豊	野畑 勢津	野間さやか	◆ハ	橋口奈保子	花村 節子	馬場 泰子
濱田 静子	原崎 郁夫	原田 勝男	原 寛子	◆ヒ	日笠 宏	東 大策	樋口 純子
菱山 米子	平尾 良子	平野 孝夫	平野 孝使	平本 淳一	広越 恵子	◆フ	深澤 祥江
福永 隆	福本 秀子	福山 笑子	藤田 宗昭	藤吉 康司	古川 淳一	古谷 英之	
◆ホ	募金袋	星野 敦子	堀田 礼子	◆マ	前田いづみ	町田 浩	松浦恵美子
松田 英幸	松橋 秀之	松村 清司	◆ミ	水谷 透	三橋 三恵	皆川真理子	簗島 典代
宮嶋 久枝	宮田 和恵	宮田 清彦	◆メ	目黒 裕	◆モ	森口 弥生	
◆ヤ	屋嘉部路代	矢谷安紀子	八塚 住子	山口 明子	山口いね子	山口 幸子	山口 善弘
山田千賀子	山本 きく	◆ユ	結城由美子	◆ヨ	横田カツ子	吉味 徳子	
◆ワ	和賀 順子	渡辺 詢子	渡辺 静江				

#### ◎一般寄付（法人）

(株)一幸堂	MKPIソングニアルグ 合同会社	圓光院	基督兄弟団横浜教会	汲沢電設(有)	香象院
西善院	JAIFA神奈川県協会	真照寺	(一社)生命保険協会 神奈川県協会		荘厳寺
捜真学院	増徳院	東漸寺	東横石油(株)	ハニーミルク(株)	(株)マルヤホーム (有)京横興発



(有)フットフィール

横浜学院

(株)ルーフテック

蓮花院

### ◎一般寄付（団体）

厚木幼稚園	霞ヶ丘教会	神奈川県神社庁	鎌倉雪ノ下教会	関東学院六浦中学高校	関東学院中学高校	鶴沼めぐみルーテル教会	
桜ヶ丘幼稚園	清水ヶ丘教会	新横浜教会	捜真女学校PTA	宗泉寺	茅ヶ崎恵泉教会	田園江田教会	逗子教会
田浦教会	藤沢教会	藤沢北教会	藤沢北教会婦人会	藤沢カトリック教会	翠ヶ丘教会	紅葉坂教会	湯河原町長
横須賀学院	横浜海岸教会	横浜指路教会	横浜あおばライオンズクラブ	横浜泉ライオンズクラブ	横浜磯子教会	横浜英和学院	
横浜教会渡辺滋基金		横浜金港ライオンズクラブ		横浜港南台教会	横浜中ライオンズクラブ	横浜雙葉中学高校	
YOKOHAMA BELL ライオンズクラブ		横浜南Q-クルー	横浜元町ライオンズクラブ		ライオンズクラブ 国際協会330-B地区	六角橋教会	

<以上、敬称略>

## 2024年度事業支援委員会 感謝録

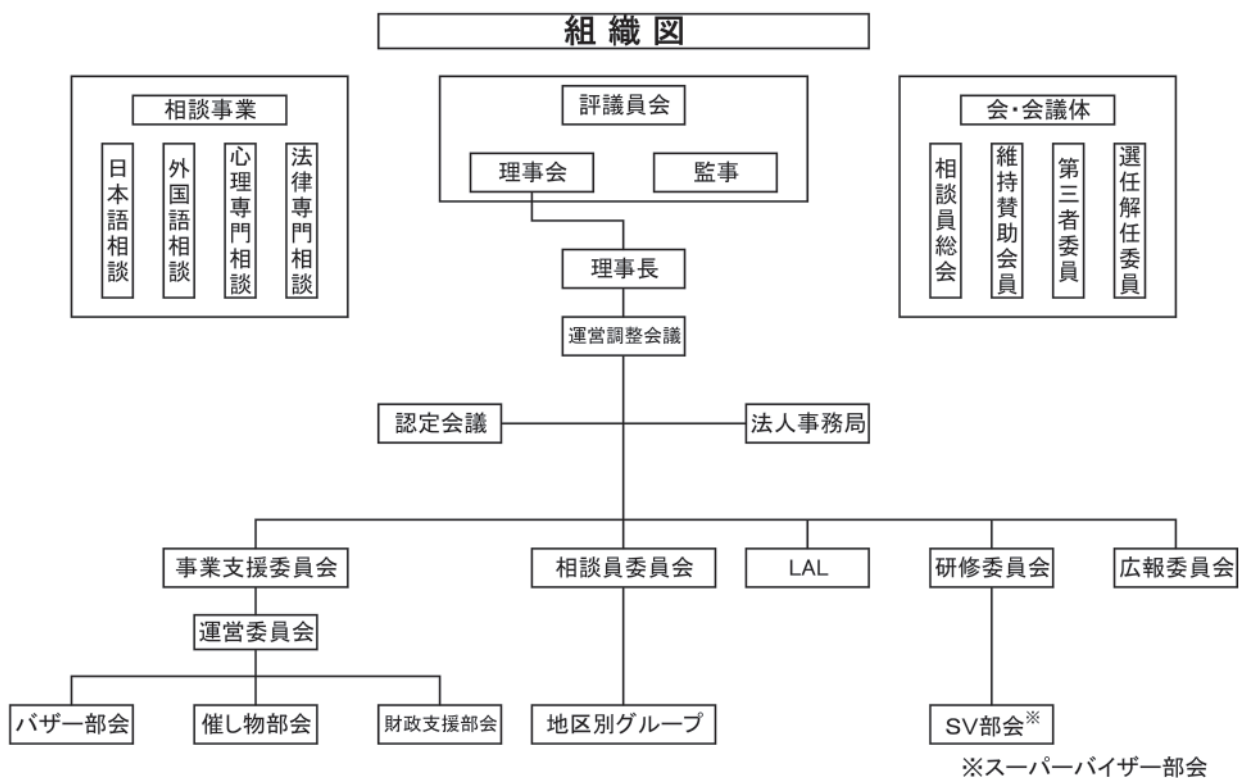
社会福祉法人横浜いのちの電話の一組織として、バザー・コンサートなどの支援会活動を行いました。その収益を横浜いのちの電話の相談活動の運営資金として協力することができました。活動を支えてくださった多くの方々・団体に感謝いたします。

### 秋のコンサート 広告協賛企業

(株)有隣堂	(有)ヨネヤマプランテーション	(株)三彩社
(株)ガトーよこはま	(株)つま正	カサイ企画
(株)オリマツ	社会福祉法人 鎌倉静養館	戸越税理士法人
(株)白楽花園	(有)光越商事	

### ご協力いただいたバザー会場

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 4月14日 カトリック雪の下教会     | 6. 11月22日 神戸女学院同窓会・横浜  |
| 2. 6月 9日 カトリック菊名教会      | 7. 12月 1日 カトリック二俣川教会   |
| 3. 10月19日 興和台団地秋まつり     | 8. 3月 5日 横浜いのちの電話春の映画会 |
| 4. 11月 3日 曹洞宗大本山總持寺     |                        |
| 5. 11月15日 横浜いのちの電話公開講演会 |                        |



## 支援会ボランティア・資金ボランティアで ご協力いただけませんか。

**お問合せ先 事務局 045-333-6163**

### 支援会ボランティア

横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作り品の製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のことで社会貢献できるのが喜びになっています。

### 資金ボランティア（寄付のお願い）

眠らぬダイヤルとして24時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でのご協力をお願いします。皆様の温かいご支援をお待ちしています。ご寄付には税制上の優遇処置があります。

#### ○維持会員（毎年一定額を援助して下さる方）

個人 年間1口 3,000円 5,000円 10,000円

法人 年間1口 10,000円（何口でも可）

#### ○賛助会員（随時、任意の額を援助して下さる方）

○振込先 郵便振替 00240-3-15191

銀行振込 三井住友銀行 横浜駅前支店

普通口座番号 9367360

口座名 社会福祉法人横浜いのちの電話

※銀行振込の場合は、ご住所をお知らせください。領収書をお送りいたします。

### 遺贈について

ご遺産や相続された遺産を、横浜いのちの電話のために寄付したいとお申し出が増えております。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄付に対しては相続税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

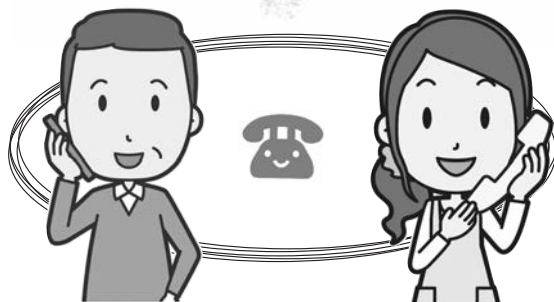
#### <表紙の絵について作者の言葉>

#### メマツヨイグサ（アカバナ科）

太陽が沈み暗くなるのを待って濃い黄色の花が咲きます、時刻を知らせる植物のひとつです。明治後期に帰来し各地で野生化しています。

静まりかえった深夜、眠れないかけ手からの電話、不安や孤独等のかけ手の気持ちに寄り添いながら、ゆっくり、丁寧に関わる事を心がけたいです。（M. K）

いのちの電話は  
いつもあなたのそばにいます  
一人で悩まずにご相談ください  
24時間・年中無休の眠らぬ電話です  
名前をいう必要はありません  
相談内容の秘密は必ず守ります



日本語電話相談

**045-335-4343**

外国語電話相談

**0120-66-2477** スペイン語

**0120-66-2488** ポルトガル語



---

## 横浜いのちの電話 2024年度事業報告

発行日 2025年7月

発行者 松橋秀之

発行所 社会福祉法人横浜いのちの電話

〒240-8691

日本郵便(株) 保土ヶ谷郵便局私書箱32号

事務局 Tel 045-333-6163

fax 045-332-5673

<http://www.yind.jp/>



この報告書は神奈川県共同募金からの配分金で作成しました。